



PLAT EASE

2019年5月吉日

報道関係者各位

株式会社プラットイーズ
東京都渋谷区広尾 1-13-7
恵比寿イーストビル 6F

次世代ワークフローLABO “低コスト運用”をテーマに IP リニア送出実験を実施 今年度、メタデータと映像素材のワークフローの効率化をより一層推進

映像業界の理想的なワークフローの実現を目指す研究会『次世代ワークフローLABO』（事務局：株式会社プラットイーズ）は、3月～4月にかけて、「低コストで導入・運用が可能な簡易 IP リニア送出」をテーマとした2本の実証実験を行いました。

昨今増えつつある IP リニア配信サービスですが、運用にかかるコストは高額で、事業者にとっては重い負担となっています。本実験は、その運用コストを徹底的にどこまで抑えられるかを検証するために実施したもので、低価格な送出装置（プレイアウトシステム）の機能や使い勝手の実証、パフォーマンスを測るとともに、実用化に向けた課題を洗い出すことが目的でした。

実験の様子を公開した見学会には、現状に課題意識を持つ放送局や配信事業者の方など、当初の予想を上回る延べ15社のご来場があり、本実験についての高い関心が伺えました。

次世代ワークフローLABO では、今回の実験の検証結果と手応えを足がかりに、効率化を実現するための様々な取り組みを行います。その一環として、送出の前段階で非常に高い負荷がかかっているメタデータや映像素材の業務フローの標準化、効率化の検討をより一層推進し、ユニバーサル業務センターの構築を進めてまいります。

■『次世代ワークフローLABO』とは

映像業界が抱える課題について、事業者間の垣根を超えて、より良いワークフローやスキームを検討し、その実現を目指す有志の研究会です。2018年1月、プラットイーズを事務局として本格的に始動。番組メタデータ・映像素材の効率的な保管フォーマットや、簡易 IP リニアプレイアウトの構築などを検討・検証してきました。

※参考) 次世代ワークフローLABO ホームページ：<https://jisedai-labo.com/>

■今回の実験で使用したプレイアウトシステム

- ①Mac で実現する『ToolsOnAir just:play』
- ②将来的なクラウド運用を想定した『PE 新規開発 OTT プレイアウト (仮)』



PLAT EASE

■本件に関するお問い合わせ

次世代ワークフローLABO 事務局（株式会社プラットイーズ）

担当：鈴木、針山

Tel. : 050-3852-2277

E-Mail : labo@plat-ease.co.jp